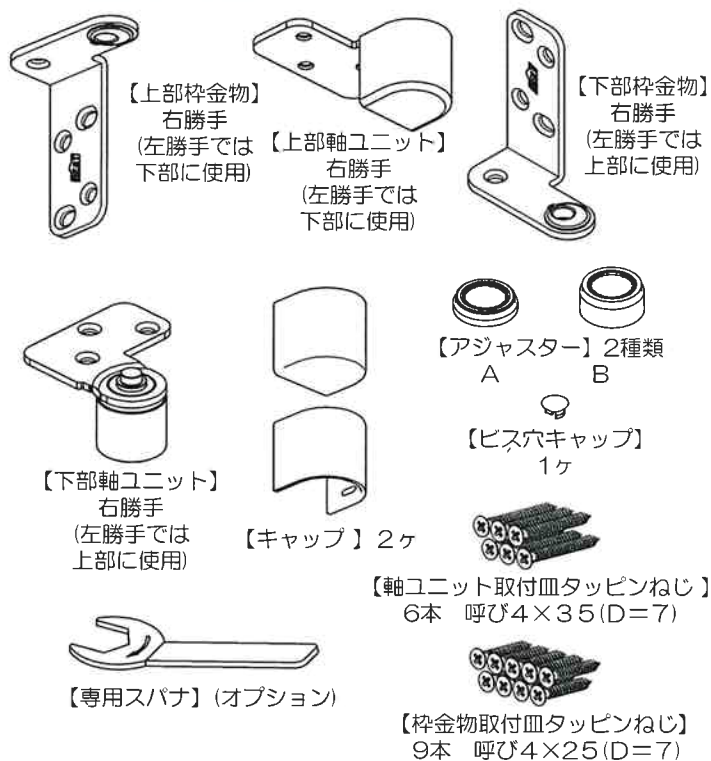


使用扉条件

- ・扉厚 : 33mm~42mm
- ・扉重量 : 35kg以下
- ・扉寸法DW : 850mm以下
- ・DH : 2200mm以下
- ・アンダーカット調整範囲 : (注) 10.5mm~20.5mm (同梱アジャスター併用による。)

注) アンダーカットを12mm以下に設定する場合は右図を参照して下さい。

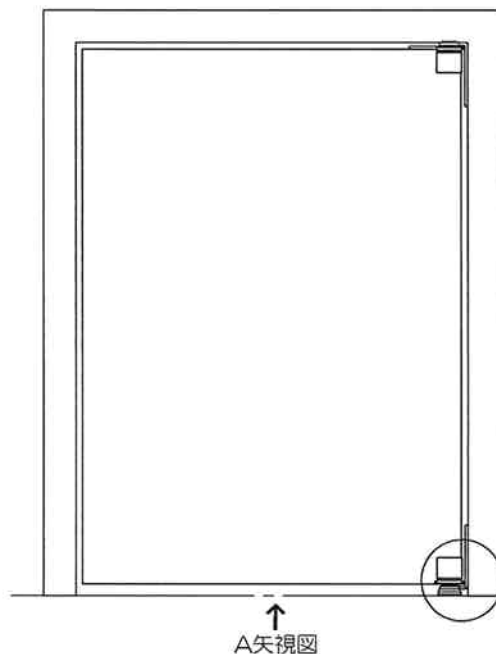


取付前確認

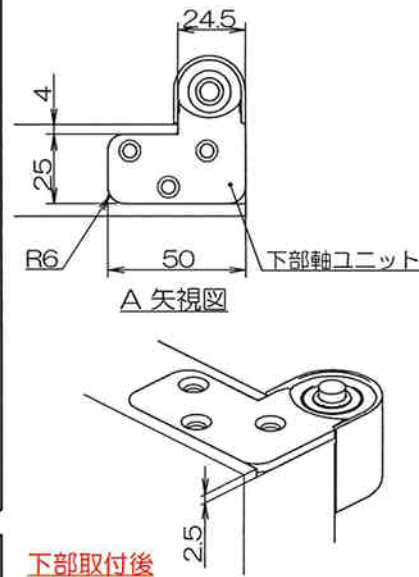
- ! 扉の左右勝手を御確認下さい。
- ! 枠と扉の隙間を確認します。
(扉左右 各4mm以上、扉上部6mm以上)
- ! 製品内容を確認して下さい。(下図参照)
- ! 本製品は床面で扉荷重を受ける為、下部の枠金物が取り付け部分の床面は、硬く変形しない平らな面である事を確認して下さい。

<アンダーカットを12mm以下に設定する場合>
(10.5mm~12mm)

! 以下の図は右勝手を例にしています。
左勝手の場合は左右対称で加工して下さい。



扉下部に現物の寸法形状に合わせて彫込んで下さい。(深さ2.5mm)

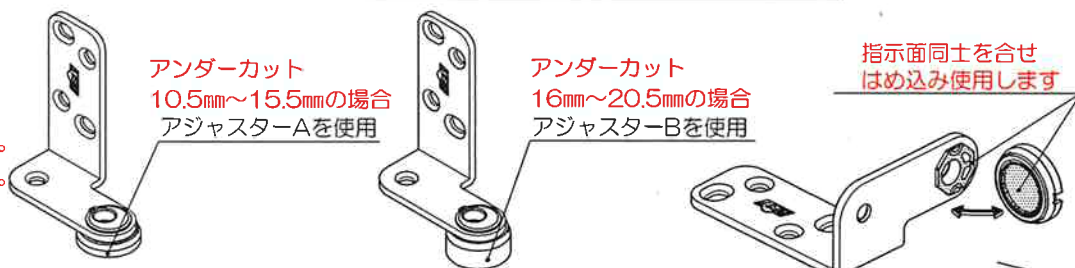


取付方法

△ 以下の取付寸法は右勝手使用時での説明です。左勝手の場合は上下左右で置き換えてください。

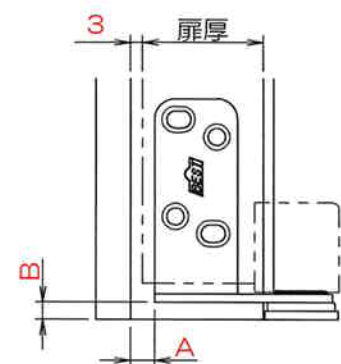
1. アンダーカット寸法の決定

アンダーカットの寸法により使用するアジャスターが決定します。右図を参考にして下さい。
下部枠金物を取り付ける際には必ずセットして下さい。



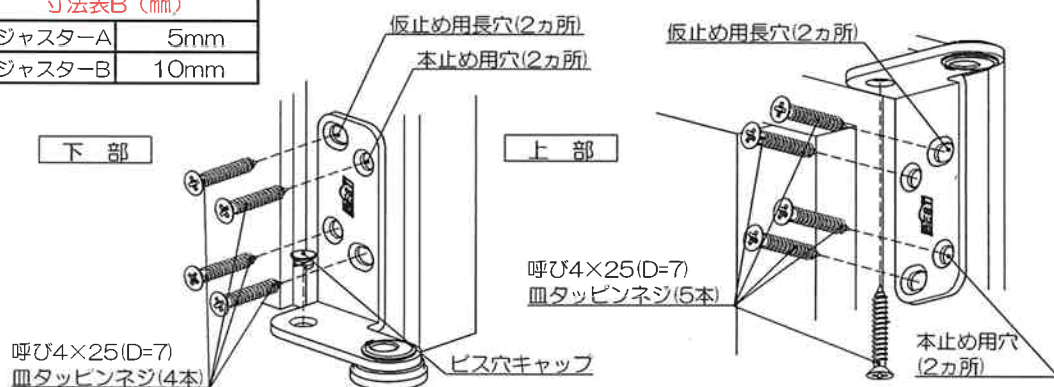
2. 枠金物の取り付け

枠金具取付位置



寸法表A (mm)	
扉厚	A寸法
33	7
34	8
35	9
36	10
37	11
38	12
39	13
40	14
41	15
42	16

寸法表B (mm)	
アジャスターA	5mm
アジャスターB	10mm



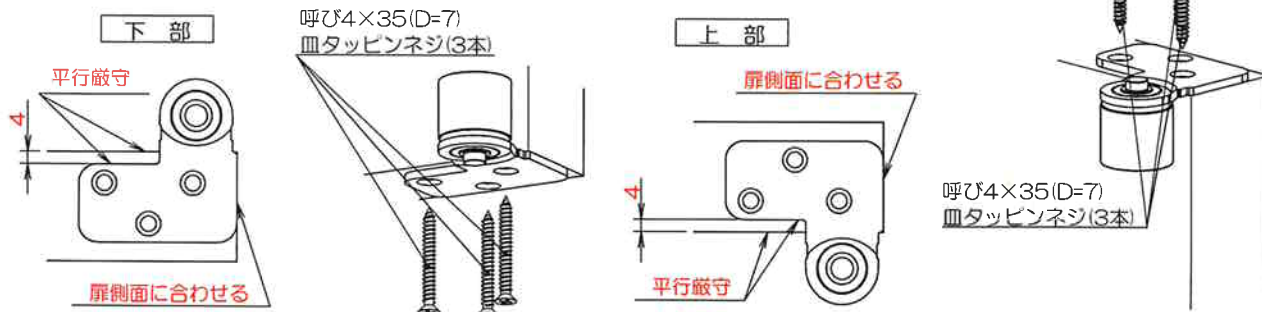
枠金物の後端面から戸当り面までの距離をAとし、(上図参照)
扉厚により寸法表Aを参照してA寸法を決定します。
B寸法は使用するアジャスターにより変化します。(寸法表B)

上図のように枠金物の下面と床面が平行になる様にし、
反止め用長穴で仮止め位置出し後、本止めします。
ビス穴キャップを忘れずにはめて下さい。
その際、アジャスターと床面を必ず密着させて下さい。

上図のように枠金物の上面と上枠面が一致する様にし、
反止め用長穴で仮止め位置出し後、本止めします。

3. 軸ユニットの取り付け

右図を参考に上下軸ユニット共に位置を正確に決め、扉に対してしっかりと最後まで、付属のねじにて止めて下さい。



⚠ 扉の吊りこみ、調整においては手動のドライバーで行って下さい。インパクトドライバー等を使用すると破損の恐れがあります。

取付方法

4. 扉の吊り込み

①上部軸ユニットの調整ボルトを
+ドライバーで緩めます。(約4mm程度)

上部

※緩めすぎるとネジが
外れ、分解してしま
う恐れがあります。

②下部軸を軸受け穴に
はめこみます。

下部

③指で軸を押し込みながら軸を軸受け穴に
近づけ、指を離して軸を軸受け穴に確実
にはめ込んで下さい。

※確実にはめないと、
扉が落下する恐れが
あります。

④下部軸ユニットの
調整ボルトを締めていき、
上枠と扉上部との隙間が
6mmになるように調整
します。

※締め過ぎると金物が
変形し、扉が落下す
る原因になります！

⑤軸離脱防止の為、上部軸ユニットの
調整ボルトを締めます。右図のように、
調整ボルト下面と軸ユニット下面の高さが
揃ったところで止めて下さい。

※締め過ぎると
金物が変形し、
扉が落下する
原因になります！

面を揃える

※調整ボルトを平行にしないと
キャップが入らなくなり、
破損の原因になります。

図の様に上下調整ねじ
内筒の平坦面と扉の正面
を平行に揃えて下さい。

⑥上下共キャップをカチッと
なるまではめて取付完了です。

上部

下部

5. 吊り込み確認

調整を必要とする時は、『調整方法』に従って下さい。

調整方法

調整は扉を外す場合がありますので、安全には充分気をつけてください。

1. 上下調整は扉を吊ったまま行なう事が出来ます。前後左右の調整は扉を外す必要があります。

2. 上下のキャップを外します。

※紛失、破損に注意して下さい。

3. 扉が枠に当たっている箇所を特定します。

扉の上部、または下部が当たっている場合 ⇒④へ

扉の戸先側が枠に当たる
扉の戸先側の隙間が大きい
扉が枠に当たり閉じにくい
錠が掛かりにくい ⇒⑤へ

4. 上下の調整

①まず、上部軸ユニットの調整
ボルトを④ドライバーで緩め
ます。(左回し)ボルトを軸ユ
ニットから2～3mm出したと
ころで止めます。

上部軸ユニット

調整ボルト

②次に、下部軸ユニットの調整ボルトを
④ドライバーで締めると扉が上がり、
緩めると扉が下がります。
上枠と扉上部との隙間が6mmになるよ
うに調整して下さい。
その際、調整ボルトが軸ユニットから
飛び出さない範囲で調整して下さい。

※緩めすぎるとネジが外れ、
分解してしまう恐れがあります。

調整ボルト

下部軸ユニット

③高さの調整が済んだら、再び
上部の調整ボルトを締めます。
ゆっくりと締めていき、上部
軸ユニット下面と、調整ボル
ト下面の高さが揃ったところ
で止めます。

上部軸ユニット

調整ボルト

※締めすぎると枠金物が
変形し、扉の落下に
つながる恐れがあります。

5. 前後左右の調整

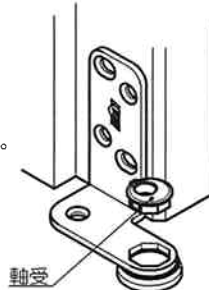
①調整ボルトを4mm程度緩めた
状態で、左図のように軸受けの
上から軸を押し込むと扉が外
れます。

【注意！】

扉をしっかりと支えてお
いてください。簡単に扉が
外れるため注意してください。

②軸受を取り外して、軸穴位置を
扉が当たらない位置にずらして
嵌めてください。
(上下同じ方法です。)
△マークがある方に扉が寄ります。

※紛失、破損に注意！



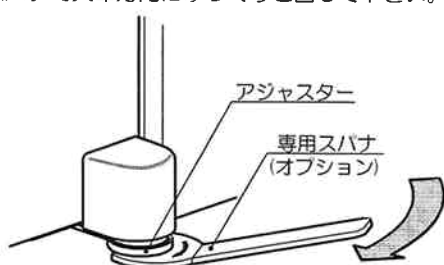
軸受

調整が済んだら、『取付方法』の
「4.扉の吊り込み」を参照して
扉を取り付けて下さい。

●以上の調整を行なっても、上枠と扉上部との隙間が6mm以上になってしまう時・・・

※床荷重が充分でない可能性があります。その際は下図の方法でアジャスターによる調整を行います。

アジャスターのカバーを上げ六角ナット部分を
専用スパナで矢印方向にゆっくりと回して下さい。



※専用スパナはオプションになります。

調整時

カバーを上げる

アジャスターA

アジャスターB

カバー

カバー

六角ナット

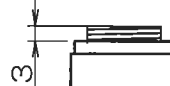
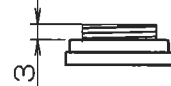
六角ナット

調整後

カバーを下げ六角ナットが
見えない状態に戻して下さい。

【注意】

アジャスターの六角ナット部分を回すと内部のねじが
出てきますが、ねじの飛び出し寸法が3mm以上
出さないようにして下さい。破損の恐れがあります。



※上枠と扉上部との隙間が6mmになったところで
必ず回すのを止めて下さい。
金物の変形や破損につながる恐れがあります。